

令和4年度エイズ予防財団助成事業実績報告書

実施団体	IFMSA-Japan SCORA(国際医学生連盟 日本 性と生殖に関する健康と権利・HIV/AIDSに関する委員会)	
実施事業名	STI Prevention Project	
団体代表者	代表 出原望咲(令和4年度)/安藤康太(令和5年度) SCORA責任者 辻川真緒(令和4年度)/高橋佳佑(令和5年度)	
事業の目的	<p>一般市民、特に大学生を対象とした、性感染症について知識を深めるイベントへの参加や企画を通して、HIV/AIDSをはじめとした性感染症の予防・啓発活動に取り組むことで、性感染症予防に貢献する。</p> <p>また、性感染症が身近な存在である事を認識し、正しい知識と行動力を身につけることで、性感染症で悩む人を減らすことを目指す。</p>	
事業の達成度	<p>今年度はオンラインイベントだけではなく、数年間行うことが出来なかった対面イベントが徐々に再開し、SCORAの活動を幅広い方々に知っていただく機会を得ることができました。</p> <p>様々な活動を通して、一般の方々にも伝わりやすく、性感染症についての情報提供を行うことが出来ました。対面イベントの際には、コンドームの配布をしたり、実際に道具に手に触れたりすることで、参加者に性感染症について考えてもらう機会を提供できたと感じています。</p> <p>また外部の団体や先生方とのイベントを通して、様々な立場からの意見を聞き、学生目線ではない新たな視点に触れることが出来ました。今後の活動に活かすことが出来るような、有意義な交流が出来たように思います。</p> <p>SNSでの性に関する情報発信も昨年度から継続して行いましたが、反応の多くは弊団体のスタッフによるもので、団体外部へのアプローチが課題となりました。しかしながら基本的な情報発信を続けていくことが、社会全体の意識を変えることのできる方法の一つであると考え、これからもHIV/AIDSをはじめとした性感染症の情報発信を継続していく所存です。</p>	
事業実績	対象となった人数(実数)	<p>①Skypeer SP「セクシュアリティとHIV/AIDS」: 弊団体スタッフ9名</p> <p>②さっぽろレインボープライド: 弊団体スタッフ7名</p> <p>③World AIDS Day SNS投稿: 弊団体スタッフ3名にて作成、いいね数のべ55</p> <p>④World AIDS Day SCORADIO: 弊団体スタッフ12名</p> <p>⑤AIDS文化フォーラム: 弊団体スタッフ5名</p> <p>⑥SCORA総会: 弊団体スタッフ23名</p> <p>⑦AM,MM: IFMSAIに所属している各国の医療系学生 日本の代表として弊団体スタッフ2名</p>
	具体的な活動内容	<p>①Skypeer SP「セクシュアリティとHIV/AIDS」</p> <p>「性の多様性」と、「HIV/AIDS」の関連性に着目し、勉強会を開催しました。勉強会は、セクシュアリティを構成する要素やMSM(男性間性交渉者)、HIVとAIDSの違いやHIV感染の予防法などについて、スタッフから参加者にレクチャーする形で行いました。本勉強会を通して、セクシュアリティとHIV/AIDSとは深く関連性があること、HIV感染を終息させるためには検査や予防の他に、偏見を取り除くことが必要であることなどを改めて理解することができました。</p> <p>②さっぽろレインボープライド</p> <p>LGBTQ(性的マイノリティ)、アライ(性的マイノリティの人達を理解し支援する人)などの様々な人が「自分らしさ」を表現し、つながりを築くイベント、さっぽろレインボープライドにブースを出展しました。ブースでは、性感染症予防の啓発を主軸に、弊団体の活動内容をまとめたチラシの配布、性教育出張授業の様子のビデオ放映、コンドームの無料配布を行いました。チラシとコンドームはともに300以上配布することができました。また、ブースを出展している他の団体の方と、互いの活動内容について意見を交わすことができ、今後の活動の刺激となりました。</p> <p>③World AIDS Day SNS投稿</p> <p>毎年12月1日に設定されているWorld AIDS Dayに合わせて、「HIV/AIDSってそもそも何?」「HIV/AIDSの検査と予防」「HIV/AIDSについての偏見」の3つのテーマで投稿を行いました。基本的な情報を繰り返し発信することが、HIV/AIDSの終息には必要であると改めて感じました。また投稿を作成したスタッフからは新しい知識を得ることができ、学びに繋がったとの声があり、啓発活動という観点からも、知識の習得の面からも非常に有意義なものとなりました。</p>

事業実績

具体的な活動内容

④World AIDS Day SCORADIO

性に関する質問や悩みをスタッフの皆さんから募集し、それに回答するラジオ形式のイベントを行いました。事前募集にて7件、当日のイベント内で4件の質問や相談をいただき、意見交換が活発に行われました。「言いたくないことは言わなくてよい」といったグラウンドルールを設けることで、温かい雰囲気で行うことができました。意見交換を通して、多様な意見に触れることができただけでなく、自分の考えを深めることができました。

⑤AIDS文化フォーラム in 名古屋

HIV/AIDSを医療の問題だけではなく、文化の問題として広く捉えることを目指す、AIDS文化フォーラム in 名古屋にて、「知ることから始めよう～HIV/AIDSとコロナに学ぶ～」というタイトルで発表を行いました。イベントの様子はYouTubeにてライブ配信されました。HIV/AIDSに関する学生への意識調査を行い、新型コロナウイルス感染症の共通点を調べることを通じて、「私たちに出来ることは何か」ということを学生目線から分析、発表しました。発表以外では、様々なりボン運動について話し合うイベントなどが行われ、多様な現場の声に触れることの出来る機会となりました。

⑥SCORA総会

SCORA総会は毎年度末に開催し、今年度弊団体の活動の集大成となるイベントです。前半パートでは、性感染症の基本的な情報と子宮頸がんの原因ウイルスであるHPV(ヒトパピローマウイルス)についてのレクチャーを行い、後半パートでは、コンドームを実際に使用したワークショップを行いました。レクチャーでは、基礎的内容から発展的内容まで扱い、またタイムリーな内容も織り交ぜました。ワークショップでは、一つ一つの工程の意味を説明しながら行うことで、経験に関係なく学びが得られるよう工夫しました。レクチャー中に積極的な問いかけが行われたり、実際に備品を用いたり、対面イベントの良さを最大限活かしたイベントとなりました。参加者の知識向上だけでなく、発表者自身の知識向上にも繋がり、また実際に道具に触れることのできる良い機会となりました。

⑦世界総会 AM (August Meeting), MM (March Meeting)

8月にトルコ イスタンブールにてSRHRを学ぶことの重要性や避妊教育の課題、3月にエストニア タリンにて性的同意やバウンダリーという概念について、世界中の医学生とディスカッションを行いました。自国の性教育の状況や文化的な背景を共有しあい、国による考え方の違いに触れることで、日本の性感染症予防・啓発について新たな視点から考えるきっかけになりました。

活動の様子

※活動の様子、イベントまたは成果物などが分かる写真や説明書き、また団体ホームページ等のURLを掲載してください。



さっぽろレインボープライド
ブース出展の様子



SCORA総会 発表の様子(上)と集合写真(下)

IFMSA-Japan HP
<https://ifmsa.jp/>

SCORA HP
<https://ifmsa.jp/scora/>



AIDS文化フォーラムの様子



World AIDS Day SNS投稿